

1Q FIRST QUARTER

2024

APRIL 30, 2024
PRESENTATION MATERIAL

東京証券取引所プライム市場：2489
株式会社アドウェイズ

2024年12月期第1四半期
決算説明会

2024年4月30日
代表取締役社長 山田 翔



ADWAYS
IR CHANNEL

ADWAYS

目次

1. 第1四半期の業績 ... P.4
2. 事業概況 ... P.17
3. 補足資料 ... P.38

本資料における記載方法について

- 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- 取扱高は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- 2021年12月期から決算期を変更した事により、2021年12月期は国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間、2021年12月期第3四半期は国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間となります。
- 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。
- 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する四半期純利益率)、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

Chapter1 : **First quarter results**

1.

第1
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

単位：百万円

	2024年 12月期 第1四半期	前年同四半期 から当四半期 推移	前年同四半期比 2023年12月期第1四半期			前四半期比 2023年12月期第4四半期		
			実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,638		15,202	▲564	▲3.7%	14,637	0	0.0%
売上高	3,298		3,455	▲156	▲4.5%	3,402	▲103	▲3.1%
売上総利益	2,708		2,898	▲189	▲6.5%	2,633	+75	+2.9%
販管費	2,514		2,358	+155	+6.6%	2,368	+146	+6.2%
営業利益	194		539	▲345	▲64.0%	265	▲70	▲26.7%
経常利益	323		575	▲251	▲43.8%	405	▲81	▲20.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	310		618	▲307	▲49.8%	296	+14	+4.9%

取扱高 前年同四半期比 5億64百万円の減少 (3.7%減)
前四半期比 0百万円の増加 (0.0%増)

営業利益 前年同四半期比 3億45百万円の減少 (64.0%減)
前四半期比 70百万円の減少 (26.7%減)

※取扱高の前四半期比の増加額は百万円未満となります。

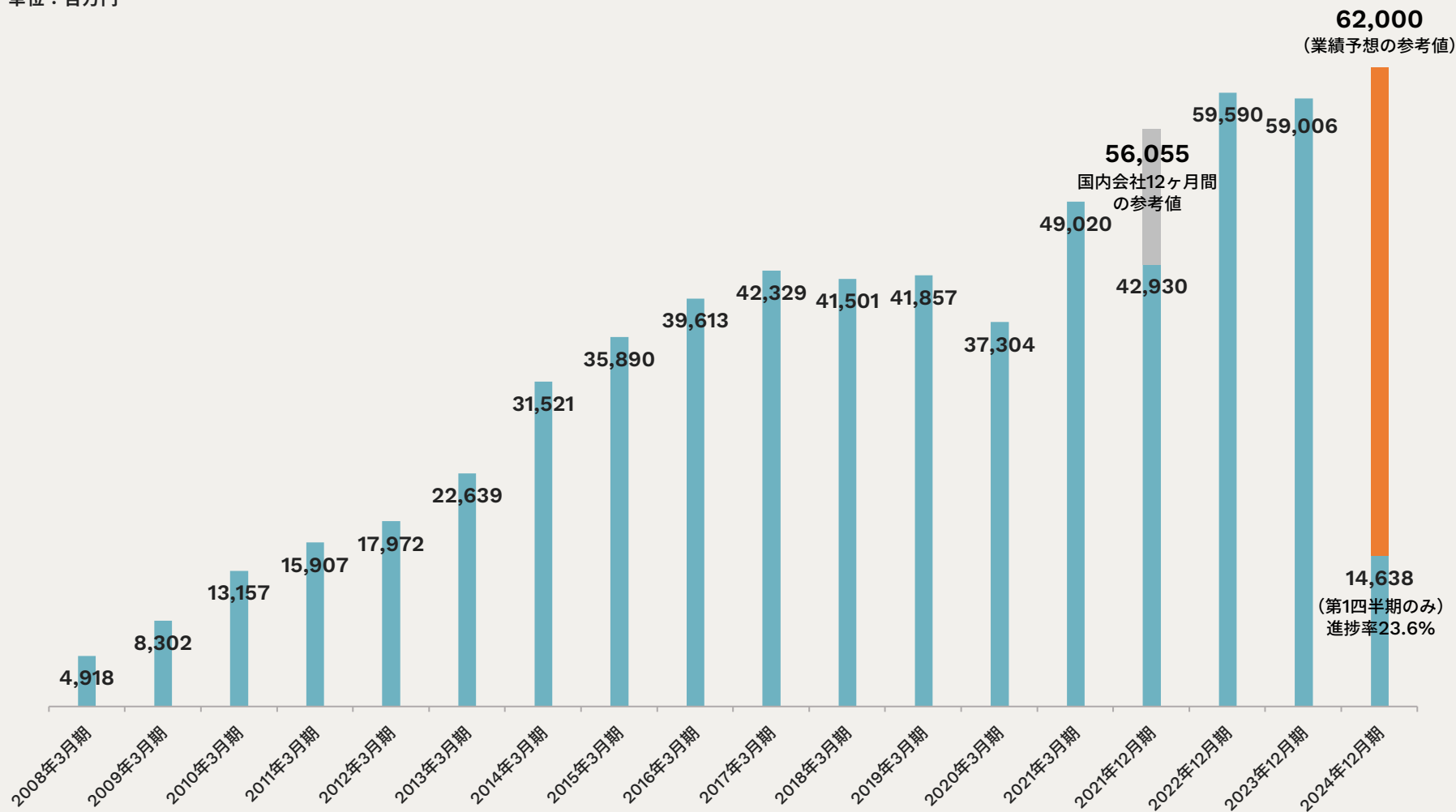
2024年12月期業績予想と実績

単位：百万円

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通期予想	62,000	14,200	770	1,000	580
当第1四半期実績	14,638	3,298	194	323	310
進捗率	23.6%	23.2%	25.3%	32.4%	53.6%

年間取扱高 (2024年12月期については第1四半期実績と業績予想の参考値)

単位：百万円



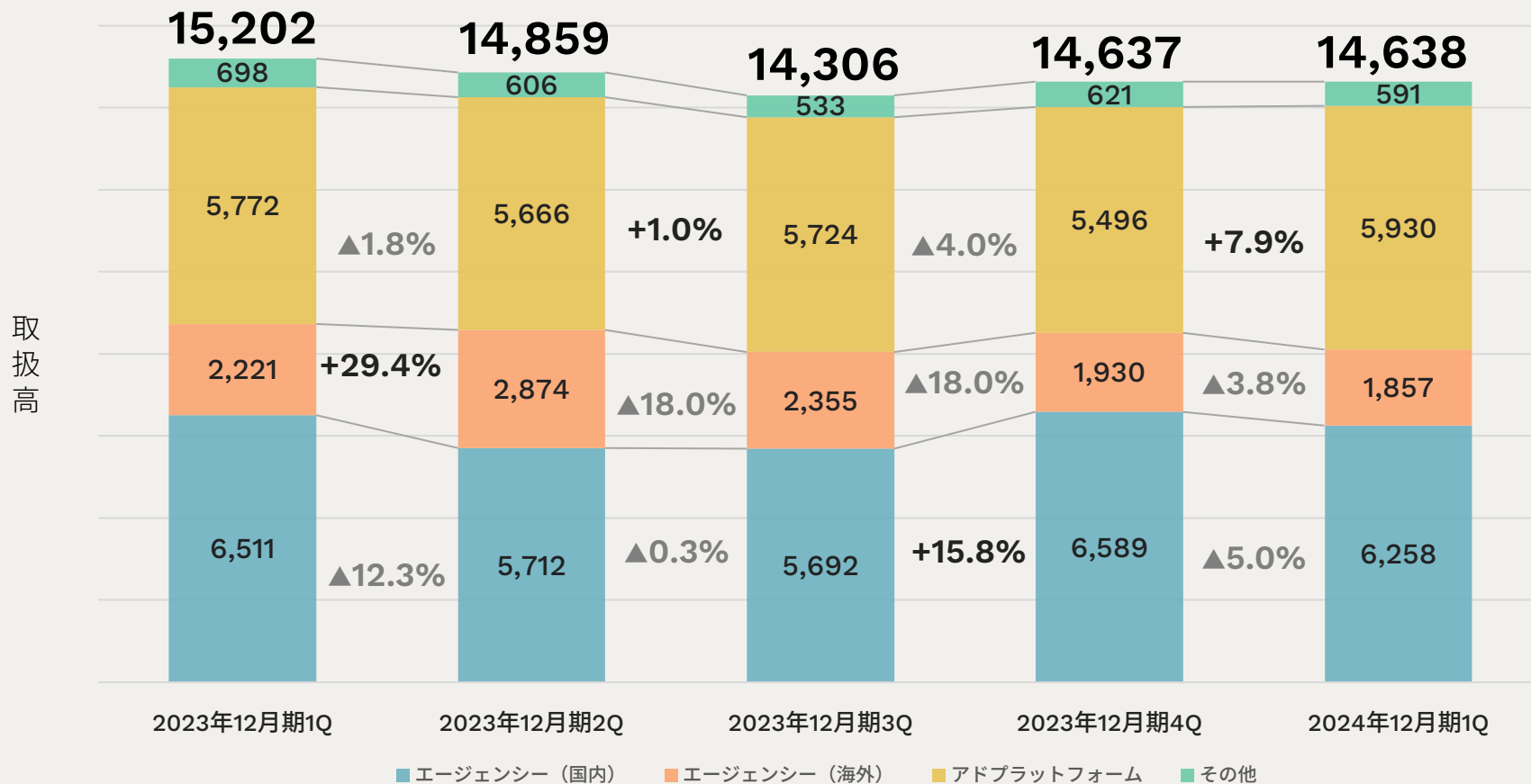
※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(会計期間)の国内会社を加えた参考値です。

当四半期のセグメントサマリー

<p>エージェンシー事業 (国内)</p>	<p>セグメント取扱高：62億58百万円 前年同四半期比：2億52百万円減少（3.9%減）</p> <p>決済サービスアプリはダウントレンド。ゲームアプリは当四半期では減少したものの大型新規案件の受注により復調傾向。マンガアプリとその他アプリが大幅に伸長。</p>
<p>エージェンシー事業 (海外)</p>	<p>セグメント取扱高：18億57百万円 前年同四半期比：3億63百万円減少（16.4%減）</p> <p>自社サービスの不調などがあり中国のアプリ広告が減少。台湾のブランド広告は伸長したものの、台湾のアプリ広告については減少。</p>
<p>アドプラットフォーム事業</p>	<p>セグメント取扱高：59億30百万円 前年同四半期比：1億58百万円増加（2.7%増）</p> <p>アフィリエイトでは金融クライアントの予算縮小に伴い減少するものの、UNICORNでブランドのジャンルが大幅に伸長したほか、マンガのジャンルも復調。YouTubeへの対応も完了し、順調に取引を拡大中。</p>

取扱高の四半期推移

単位：百万円



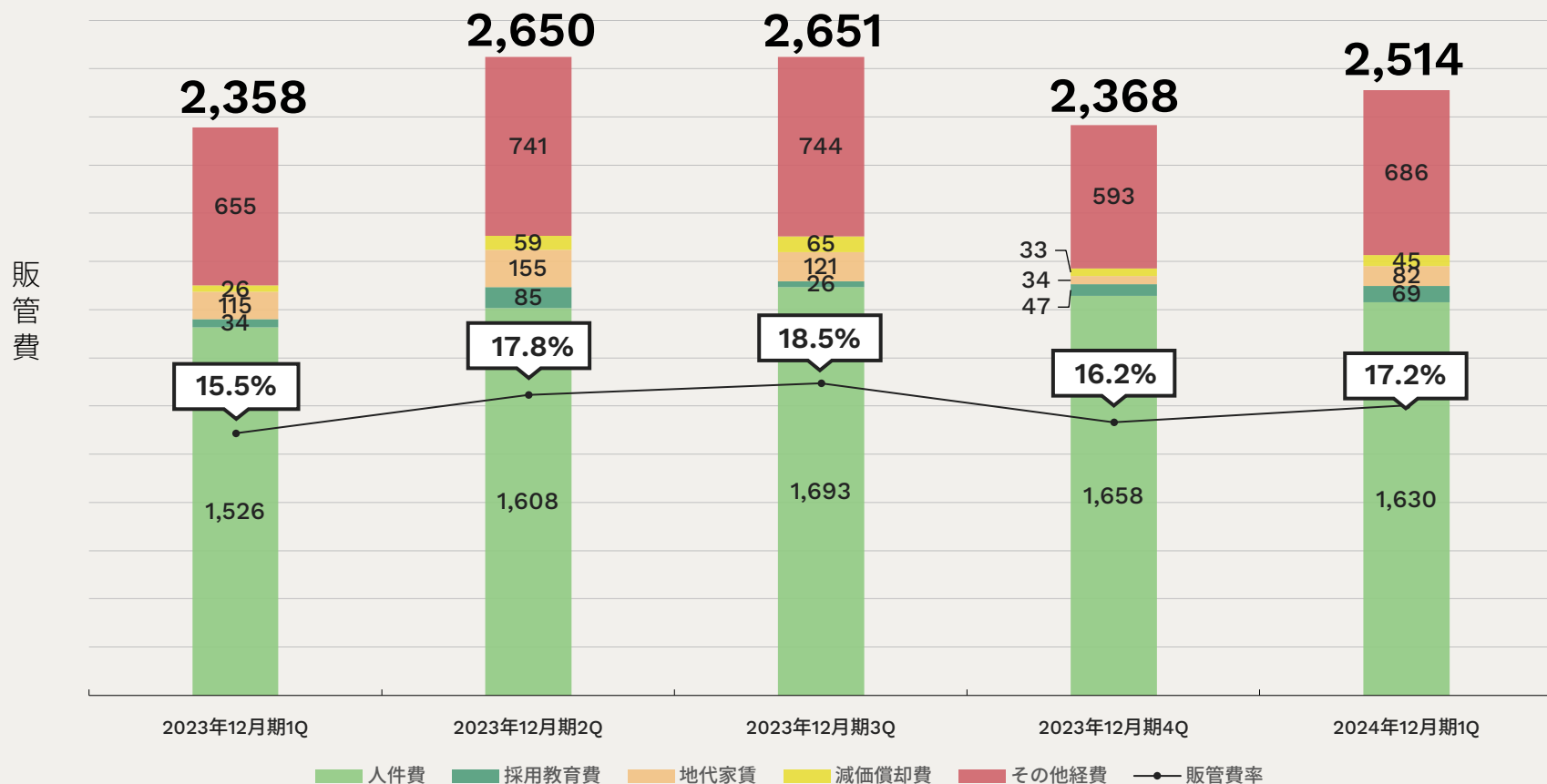
当四半期取扱高 146億38百万円

前年同四半期比：5億64百万円減（3.7%減） 前四半期比：0百万円増（0.0%増）

※取扱高の前四半期比の増加額は百万円未満となります。

販管費の四半期推移

単位：百万円

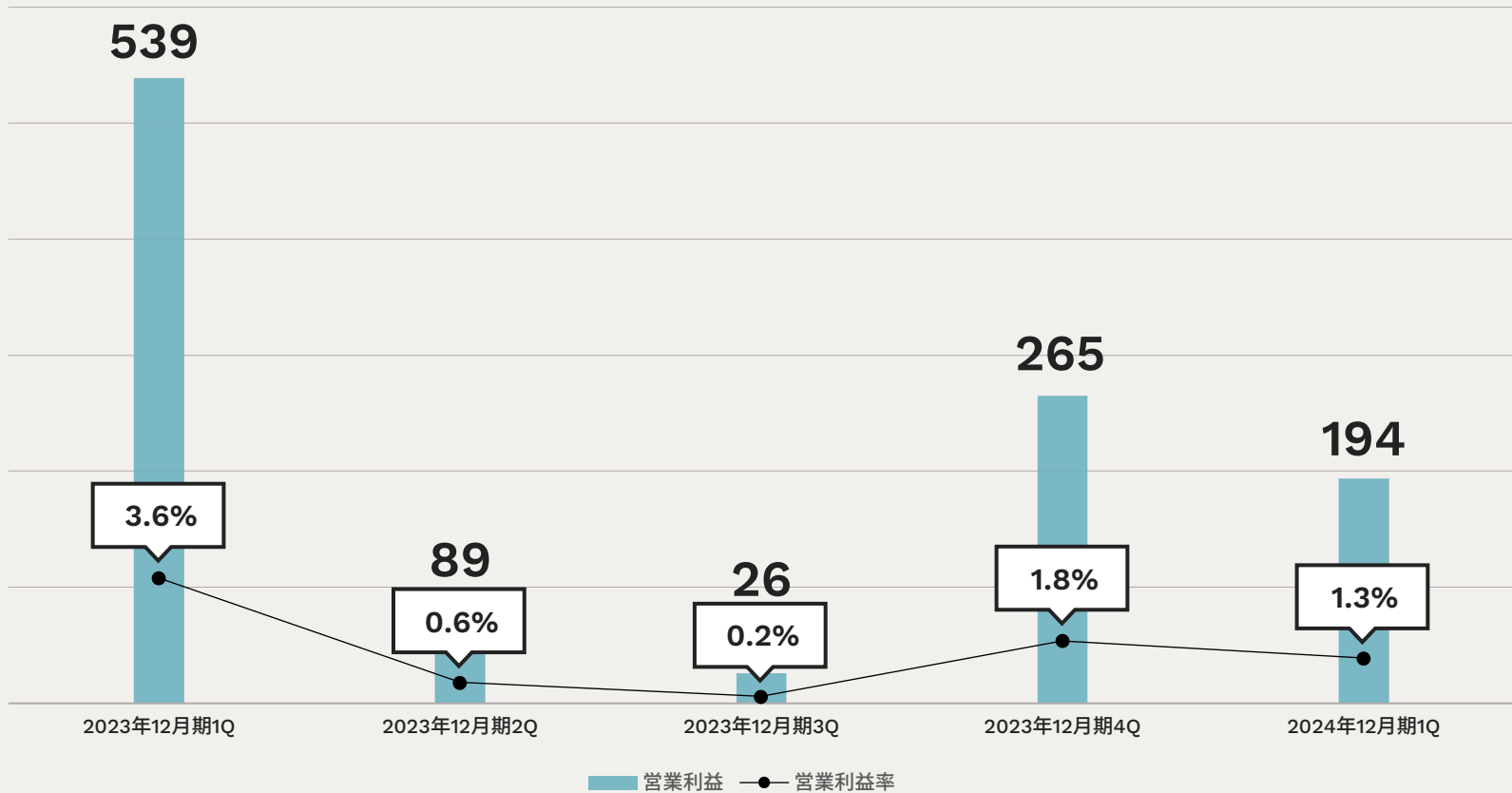


当四半期販管費 25億14百万円

前年同四半期比：1億55百万円増（6.6%増） 販管費率：17.2%（前年同四半期比1.7ポイント増）

営業利益の四半期推移

単位：百万円

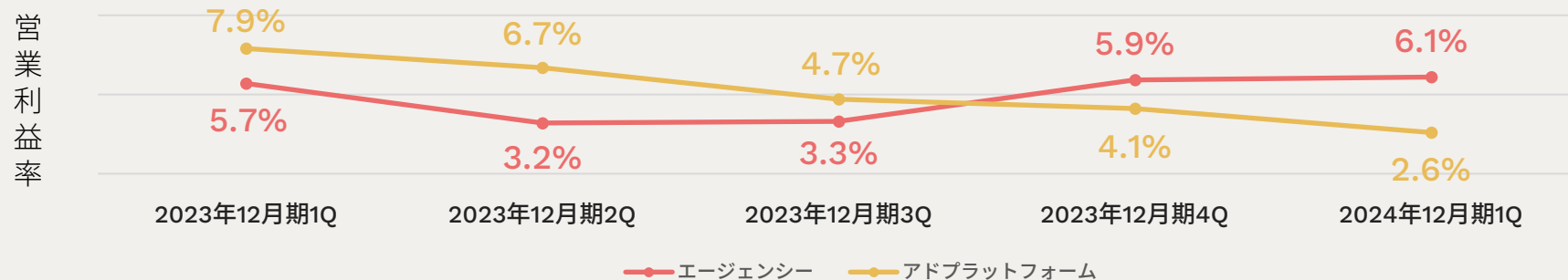
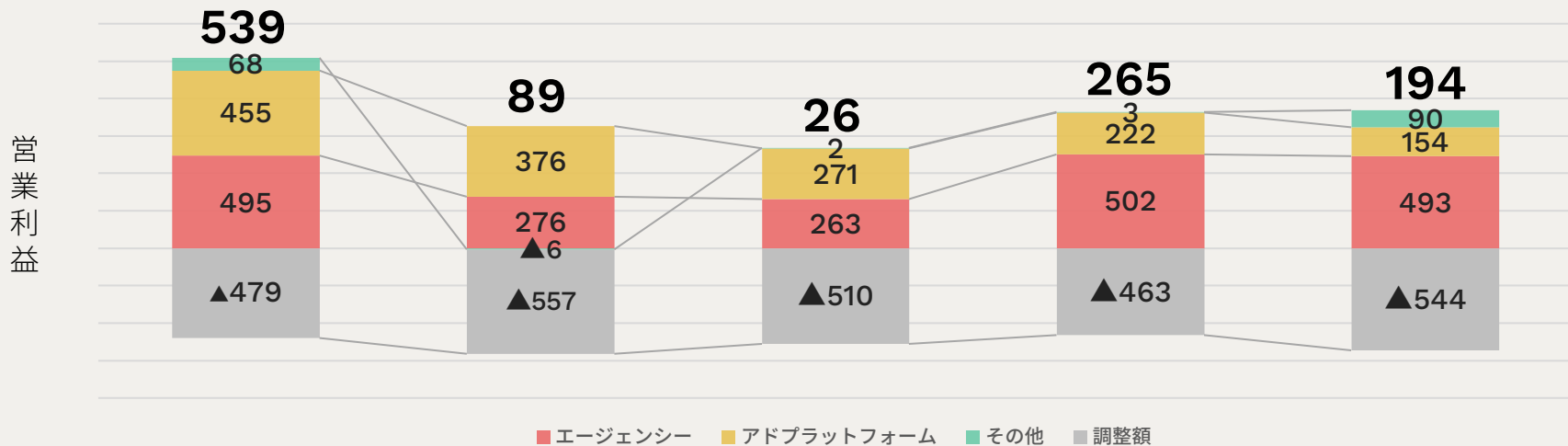


当四半期営業利益 1億94百万円

前年同四半期比：3億45百万円減（64.0%減） 営業利益率：1.3%（前年同四半期比2.2ポイント減）

営業利益の四半期推移 (セグメント別)

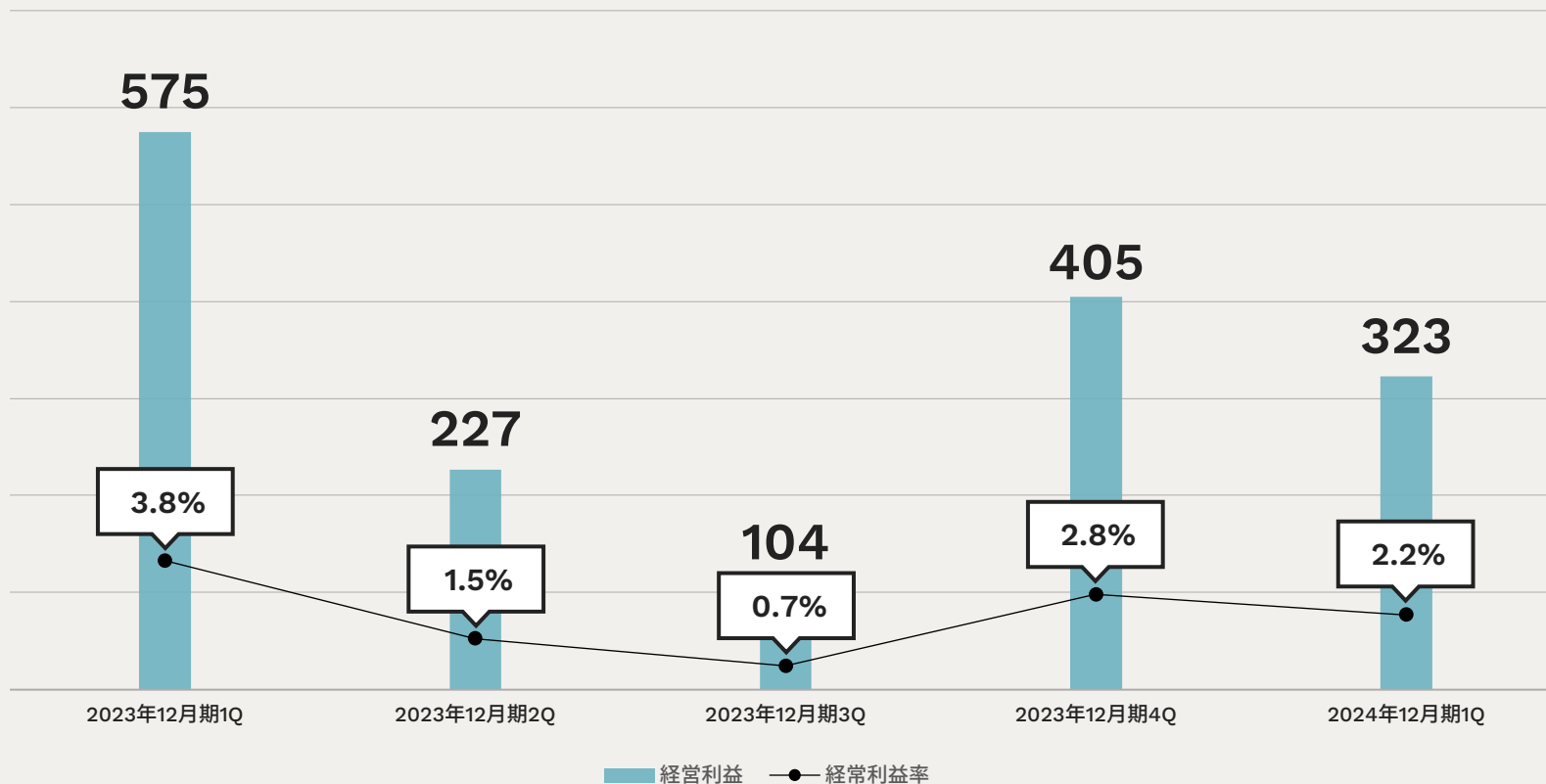
単位：百万円



- エージェンシー** : 取扱高は減少するも、販管費を改善したことで営業利益率は増加傾向。
- アドプラットフォーム** : 今後のさらなる成長のため、積極的な投資を行っており営業利益率は減少。

経常利益の四半期推移

単位：百万円



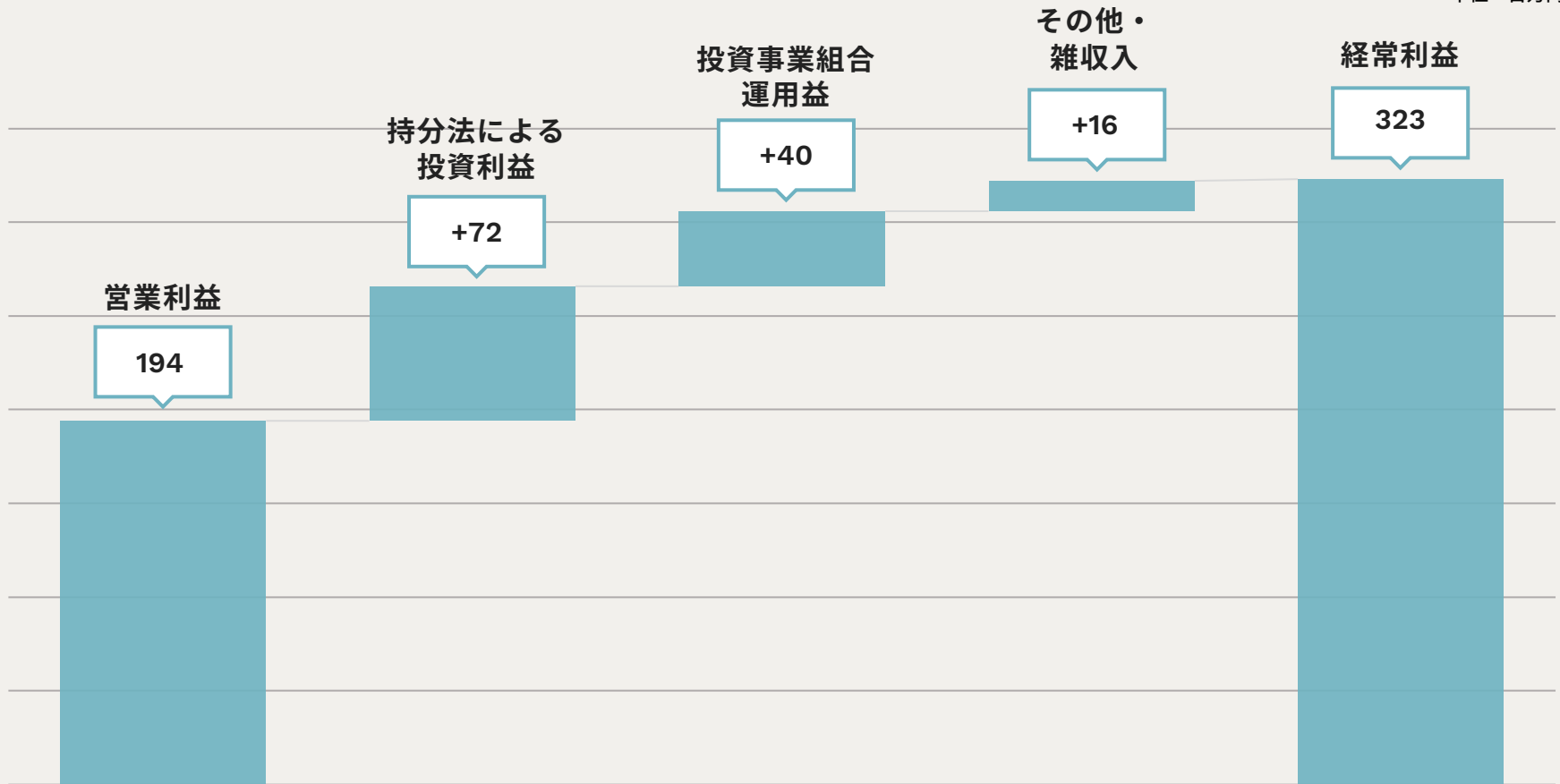
当四半期経常利益 3億23百万円

前年同四半期比：2億51百万円減（43.8%減）

経常利益率：2.2%（前年同四半期比1.6ポイント減）

四半期経常利益の推移

単位：百万円



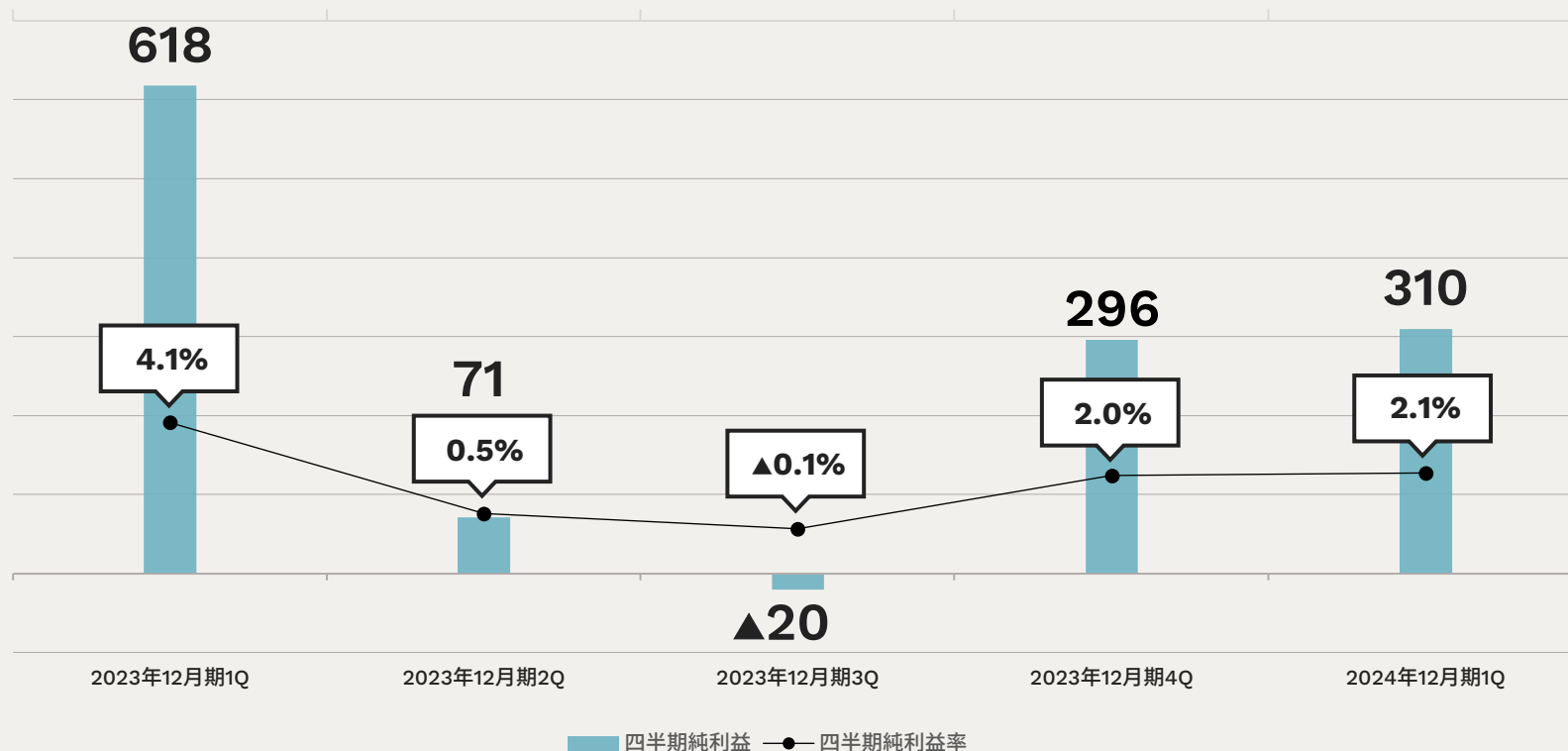
持分法による投資利益 72百万円

投資事業組合
運用益 40百万円

その他・雑収入 16百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益の四半期推移

単位：百万円



親会社株主に帰属する

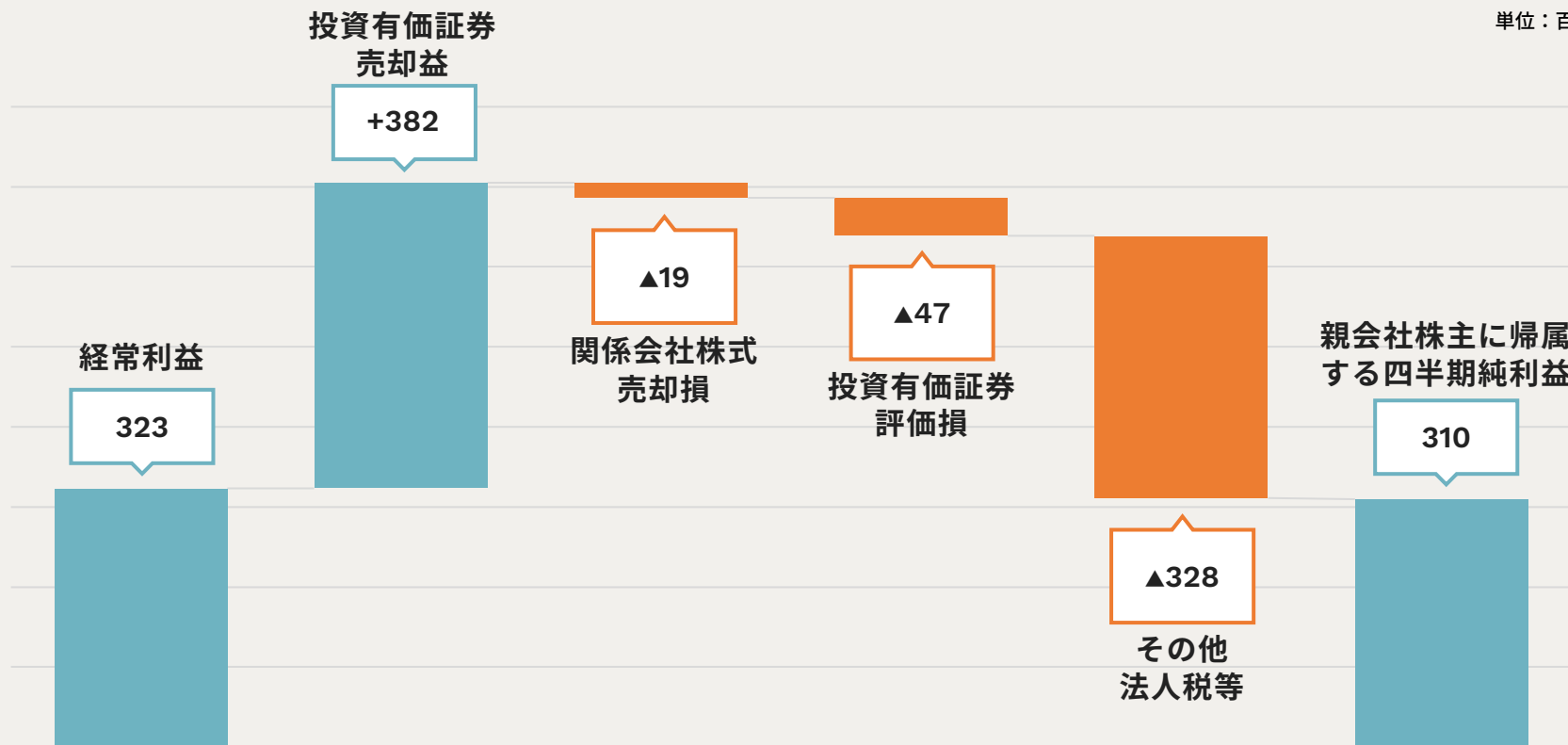
四半期純利益 3億10百万円

前年同四半期比：3億7百万円減（49.8%減）

利益率：2.1%（前年同四半期比1.9ポイント減）

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

単位：百万円



投資有価証券売却益 382百万円

関係会社株式売却損 ▲19百万円

投資有価証券評価損 ▲47百万円

その他法人税等 ▲328百万円

2.

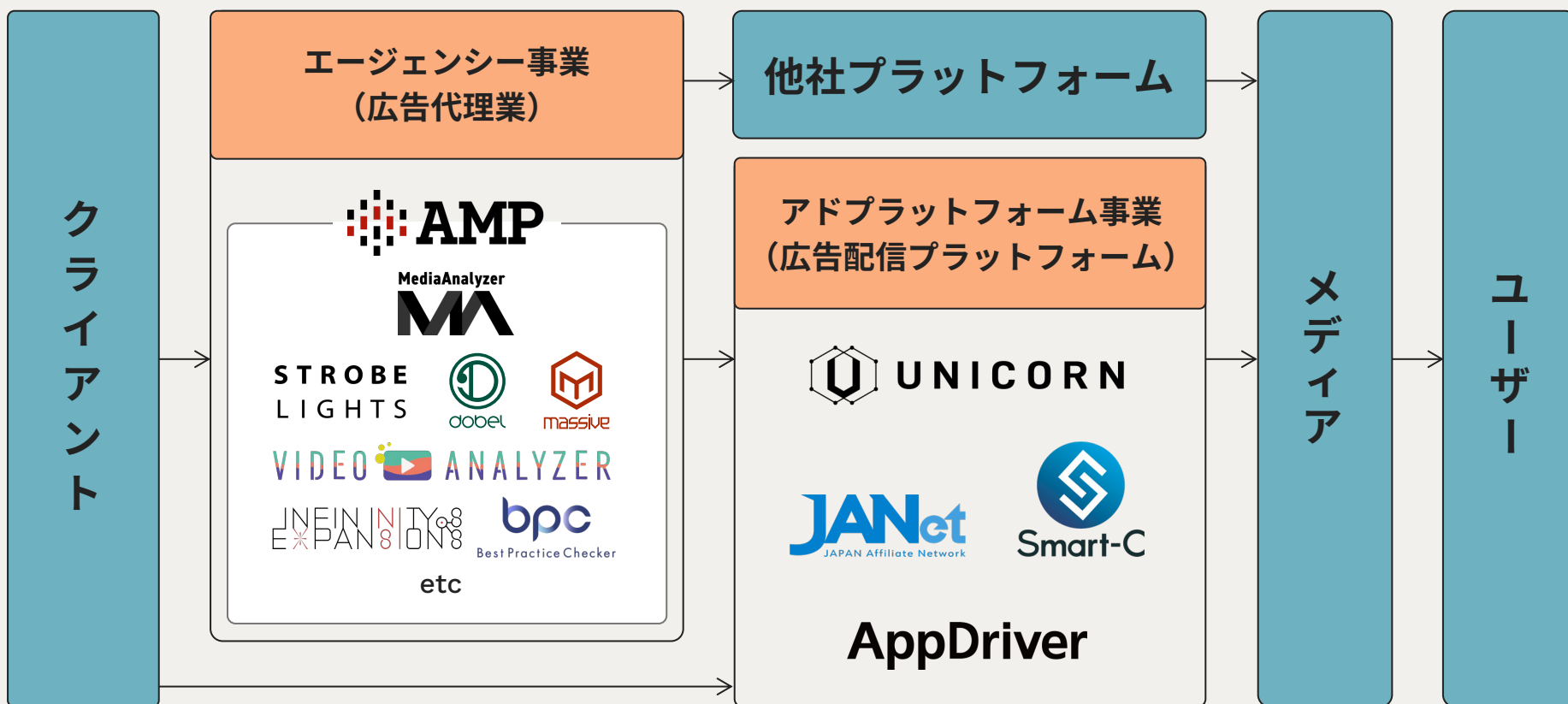
Chapter 2: business overview

事業概況

広告事業の概況

First quarter

広告事業の分類



広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エー ジ エ ン シ ー
事業 (国内)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 (国内) 事業方針

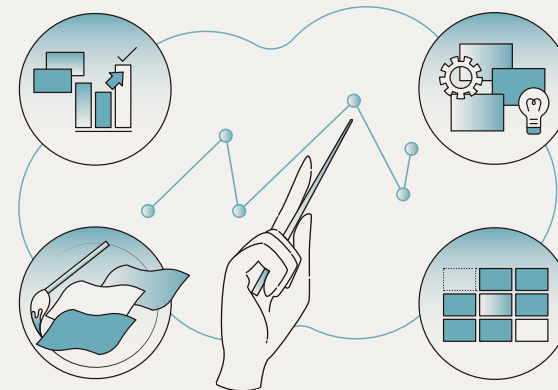
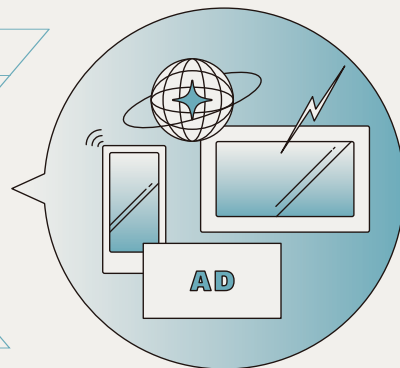
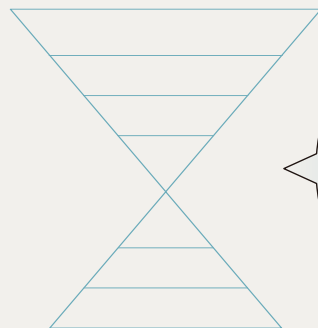
First quarter

顧客の事業成長ドライバーとして、 マーケティングDXを実現

Hakuhodo DY holdings



Hakuhodo DY
media partners



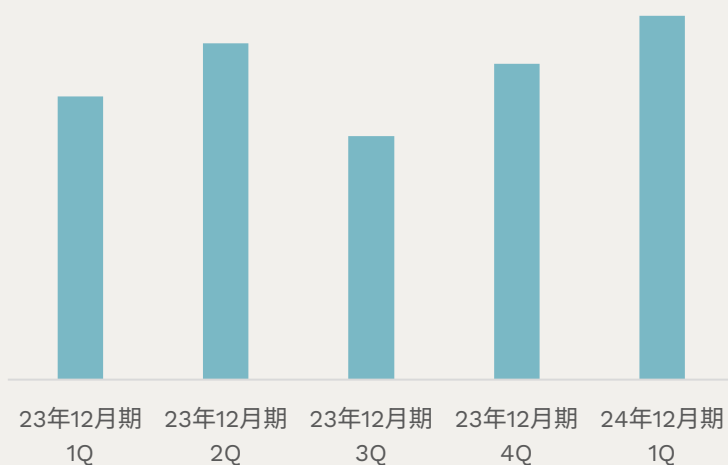
エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。ナショナルクライアント（ブランド広告主）へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組みます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1) フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事

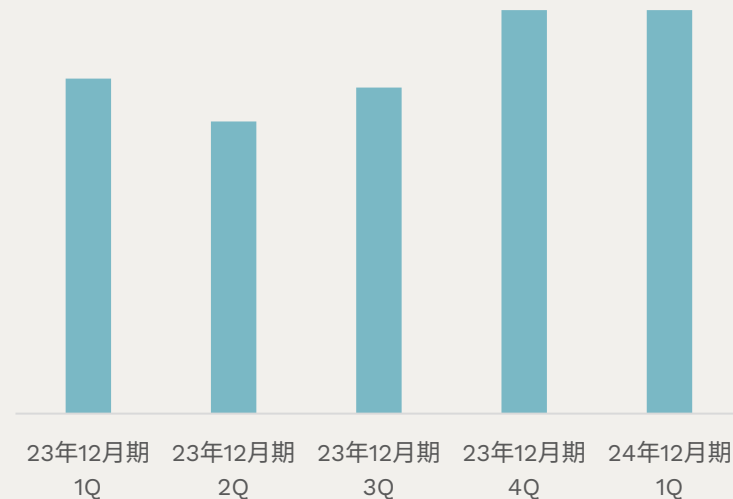
※2) フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事

博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業
売上総利益推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移



売上総利益、アカウント数ともに前年同四半期から伸長。

「株式会社ADWAYS EN」 事業開始

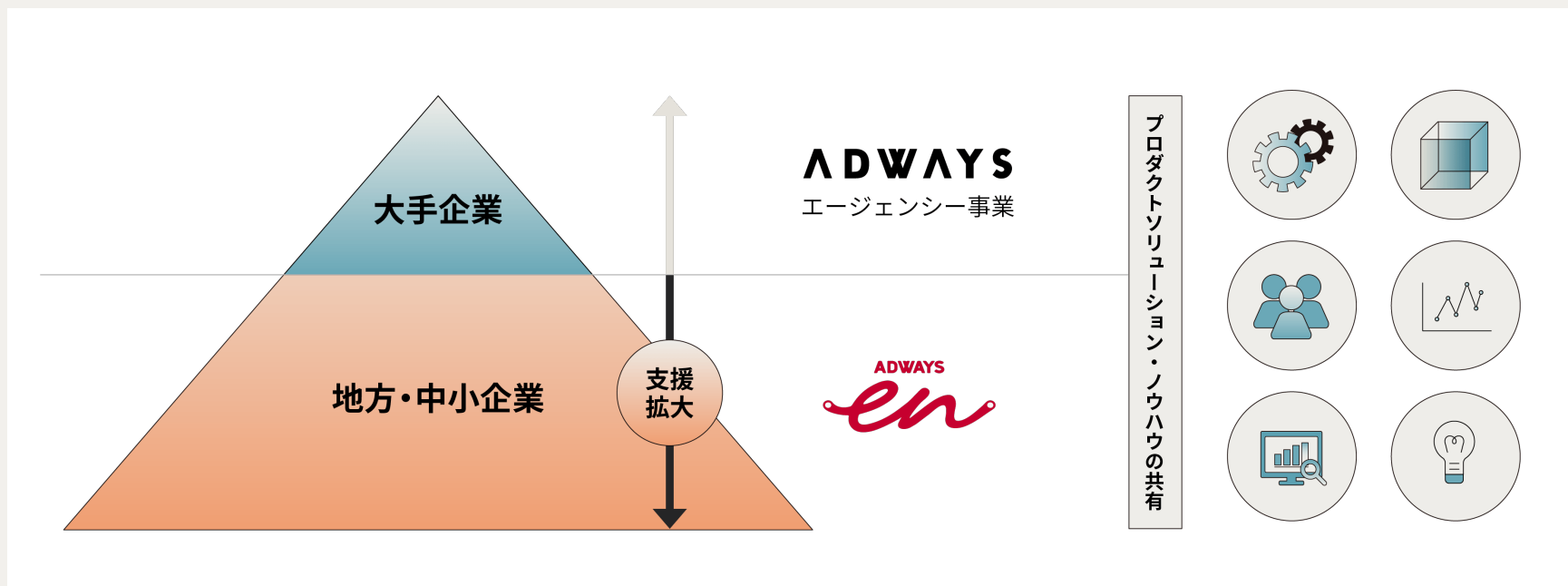
MISSION

デジタル×マーケティングで環を拡げ、
モノと人、ヒトと人の"en"をつなげる

ADWAYS
en

国内の地方・中小企業に対し、デジタル広告を中心とした
課題解決・マーケティング支援をいたします。

地方・中小企業向け デジタルマーケティング支援事業



エージェンシー事業の持つ効率化されたオペレーションやプロダクトを基盤に、
高いマーケティング効果と生産性を最大化し、
デジタルマーケティング支援をワンストップで提供いたします。

アドプラット
フォーム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業



UNICORN

REDEFINE DIGITAL MARKETING.

アドプラットフォーム事業 (UNICORN) 事業方針

チャンネル × 提供価値 × アカウントの
3軸で立体的に拡大



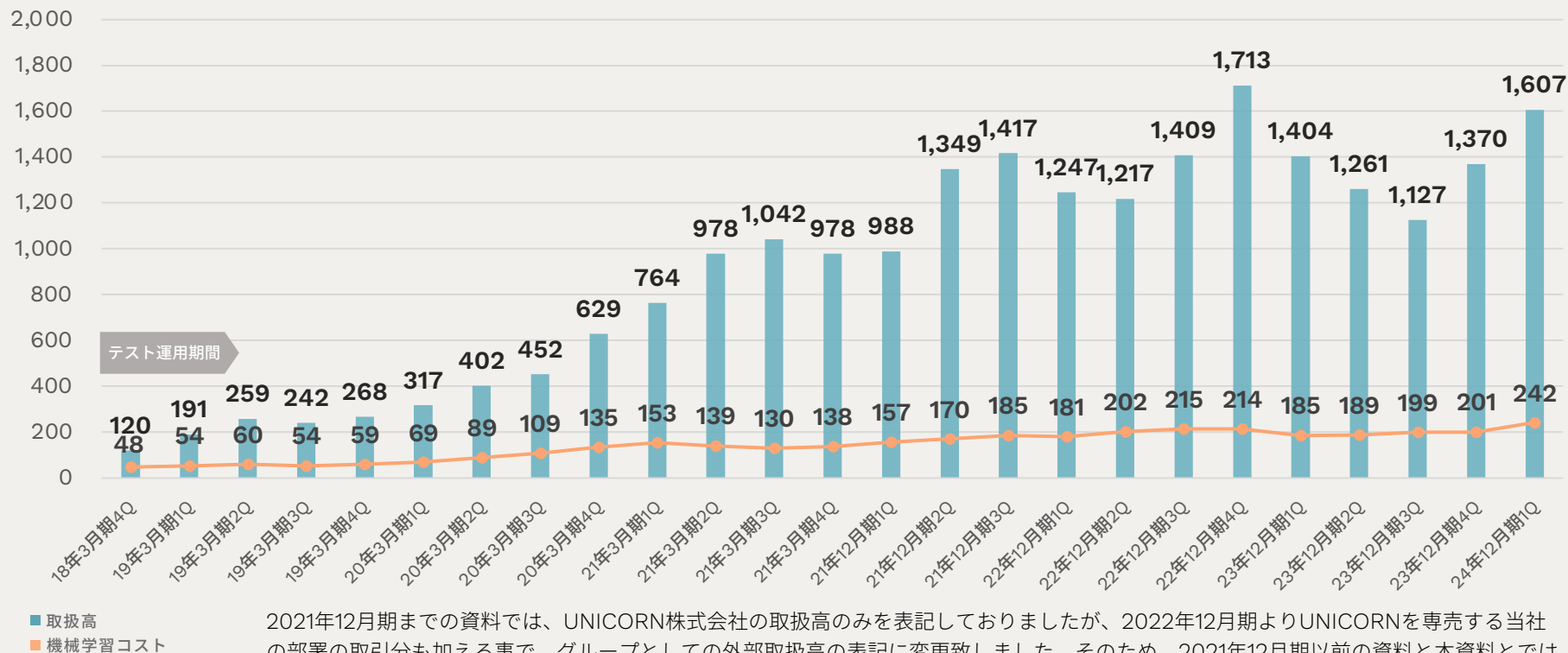
UNICORNでは、Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT※等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。また、試験運用を経てYouTubeへの対応が完了し、広告配信メニューの提供を開始。あらゆるチャンネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

UNICORNの進捗(取扱高)

First quarter

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。(他商材も扱う部署の取引分は加えておりません)

前年同四半期比114%となり、不調であった2023年12月期3Qから大幅に回復。

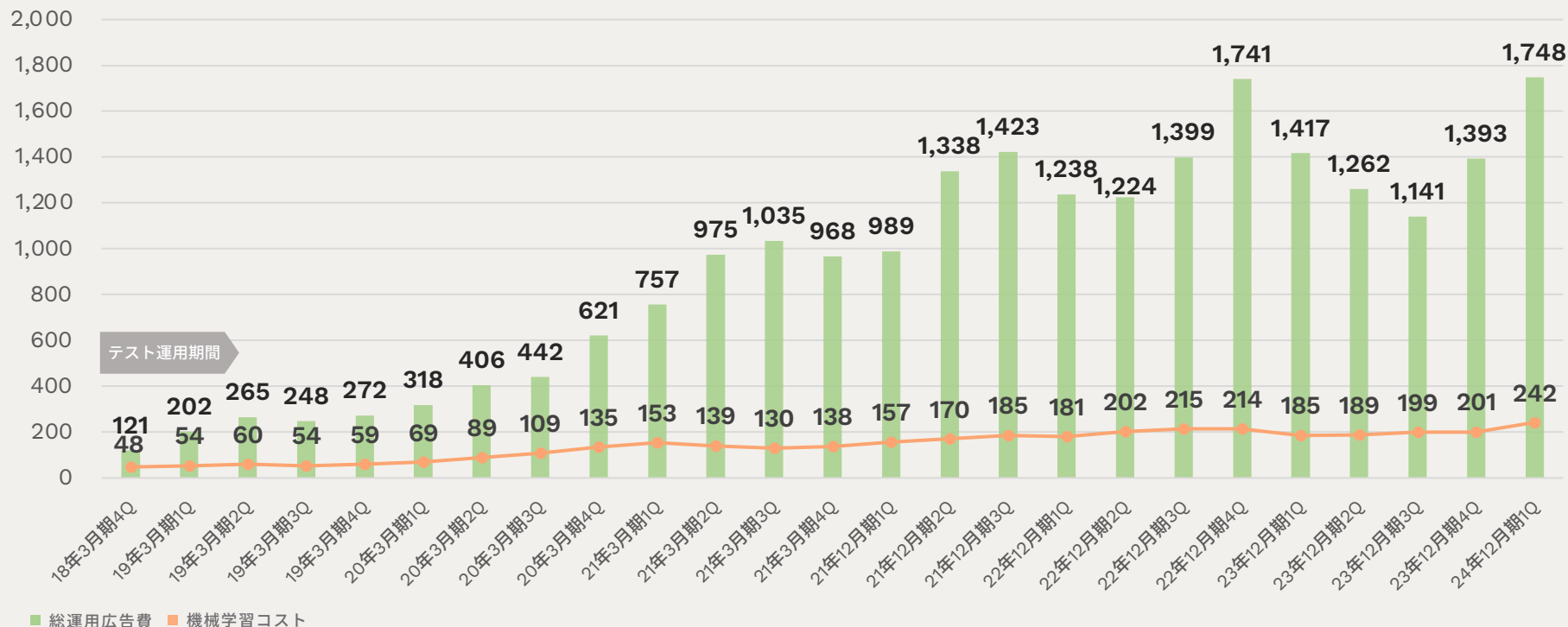
About UNICORN

UNICORNの進捗 (総運用広告費※)

First quarter

UNICORNの総運用広告費※／機械学習コスト推移

単位：百万円



総運用広告費※ではサービス開始以来の最高値となる。

※「総運用広告費」とは、取扱高とは異なりUNICORNのシステムで実際に広告配信を行った金額の総額です。取引先からの要望によりUNICORNのマージン分のみが取扱高になる場合や、取引先との取り決めにより一定の条件を満たした場合に取扱高を減額する場合などがあるため、より正確にサービスとしてのUNICORNの増減を示すため、2024年12月期から「総運用広告費」のグラフを加えております。

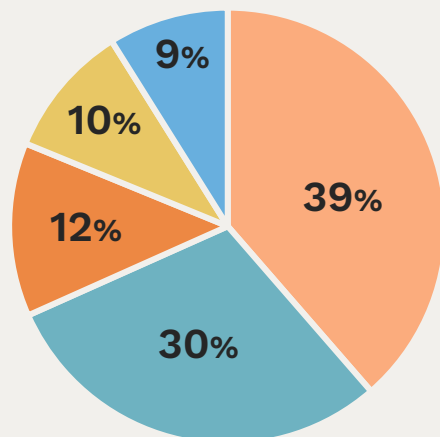
About UNICORN

UNICORNの進捗

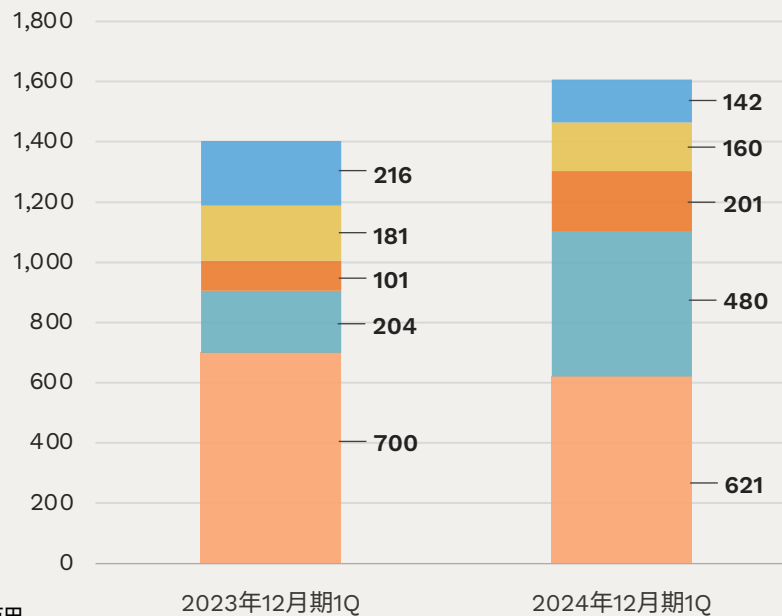
First quarter

ジャンル別進捗

2024年12月期1Q実績



■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他



単位：百万円

■ ゲーム ■ ブランド ■ マンガ ■ VOD ■ その他

ブランドが大きく伸長、前年同四半期に不調だったマンガも復調。

About UNICORN

UNICORNの進捗

First quarter

UNICORNの業績：前年同四半期比較

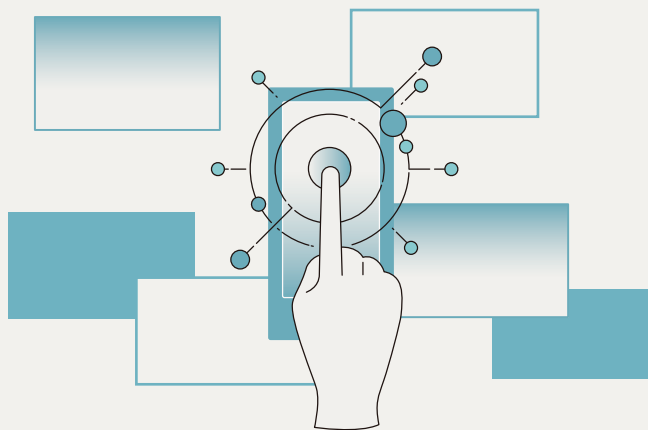
単位：百万円

	2024年12月期 第1四半期	前年同四半期比 2023年12月期第1四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,607	1,404	+203	+14.5%
売上総利益	480	436	+43	+9.9%
営業利益	33	83	▲50	▲60.3%

取扱高、売上総利益は大幅に増加。今後の更なる成長に向けた投資により営業利益は減少。

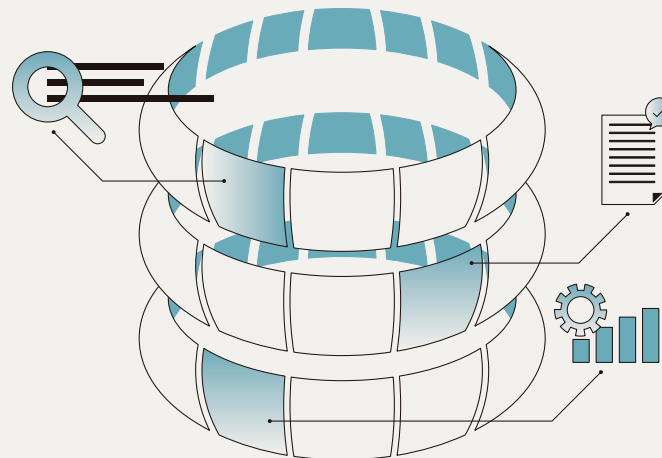
About UNICORN

先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



最先端の
クリエイティブフォーマット

Banner / Video / Reward Video
Native / Interactive



UNICORNでの
高精度な配信最適化

コンテキスト / ロケーション / デモグラフィック
キャリア / 承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

国内最大級のプレミアムSSP 「YieldOne®」 とRTB接続を開始



DOOH広告の配信イメージ



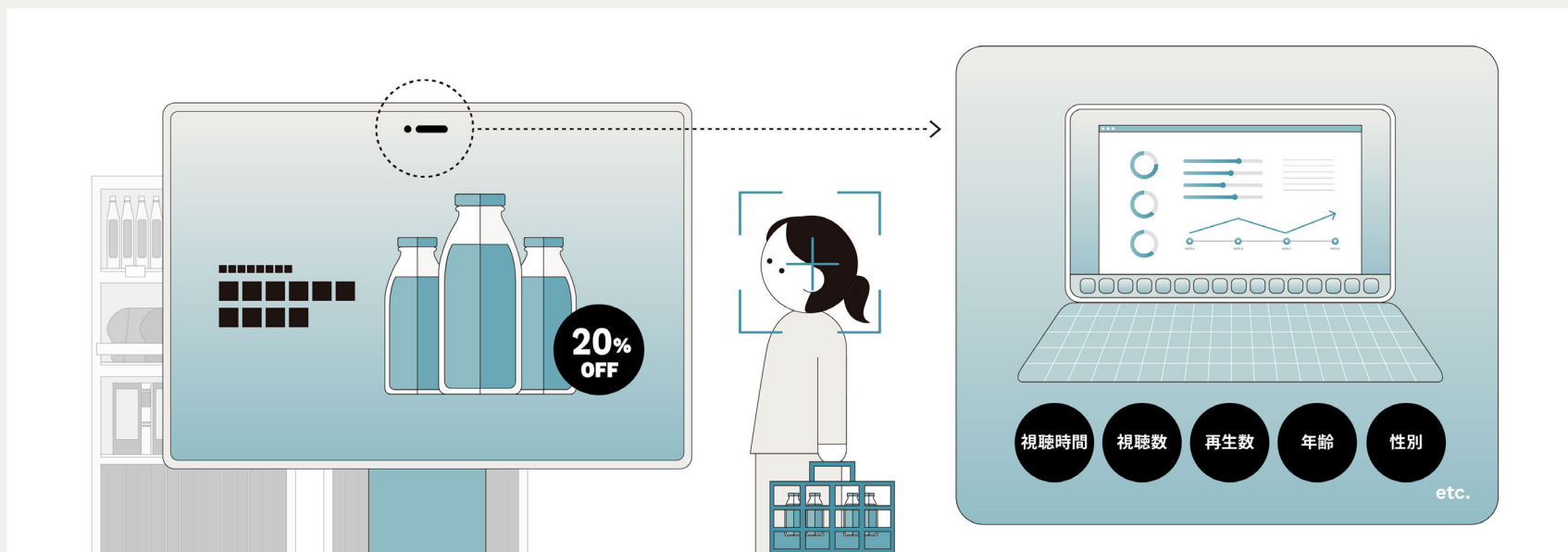
スキナ広告の配信イメージ



株式会社プラットフォーム・ワンが運営するSSP「YieldOne®」では、成長が期待されているデジタルサイネージ（DOOH）や特殊フォーマットであるスキナ広告・ジャック広告など、広告枠の拡大も計画しており、今後も両社ではクライアント様の広告効果最大化を支援してまいります。

About **UNICORN**

リテールメディア向け 広告配信プラットフォーム及び 統合型デジタルサイネージの提供を開始



Parsempo Ltd.と協業し、カメラ付きAndroidデバイス（タブレット等）の小売店舗への提供に加え、プライバシーに準拠したリアルタイムでの映像解析から、サイネージ広告の視聴時間、視聴数、再生数、年齢、性別などのデータ集計、それらのデータに基づいた広告配信が可能になります。

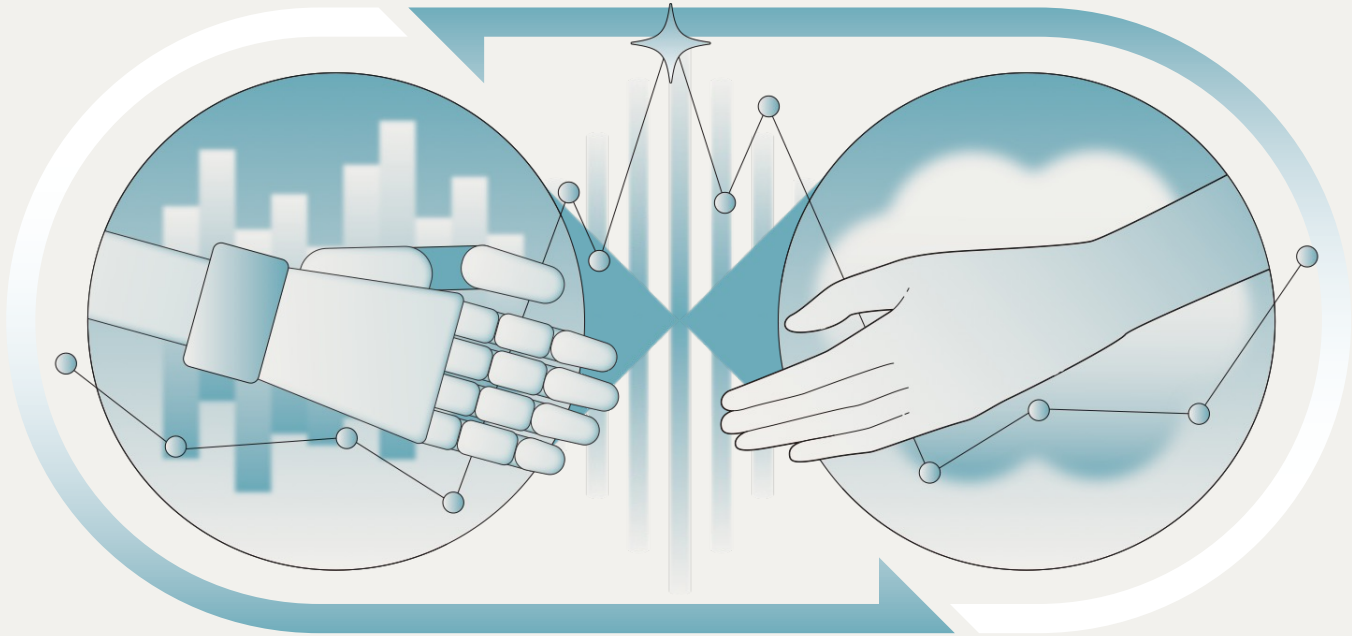
グループ会社を 株式会社クラウドナインへ譲渡



Ado、shalmをはじめとするアーティスト、作曲家やイラストレーターなど広くエンタテインメントに関わる人材のプロデュース、マネジメントの他、子会社で『誰もがタイアップソングを音楽配信できるプラットフォーム“SHOWBIZ”』を運営

UNICORN株式会社の子会社であるTheSwampman株式会社の株式の一部を、株式会社クラウドナインへ譲渡

人と機械の共生



人にはできないことを
機械化

機械にはできないことを
人に集約

パフォーマンスの**最大化**

PURPOSE OF ADWAYS

**全世界に
「なにこれ すげー こんなのはじめて」
を届け、
すべての人の可能性をひろげる
「人儲け」を実現する。**

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2024年4月30日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

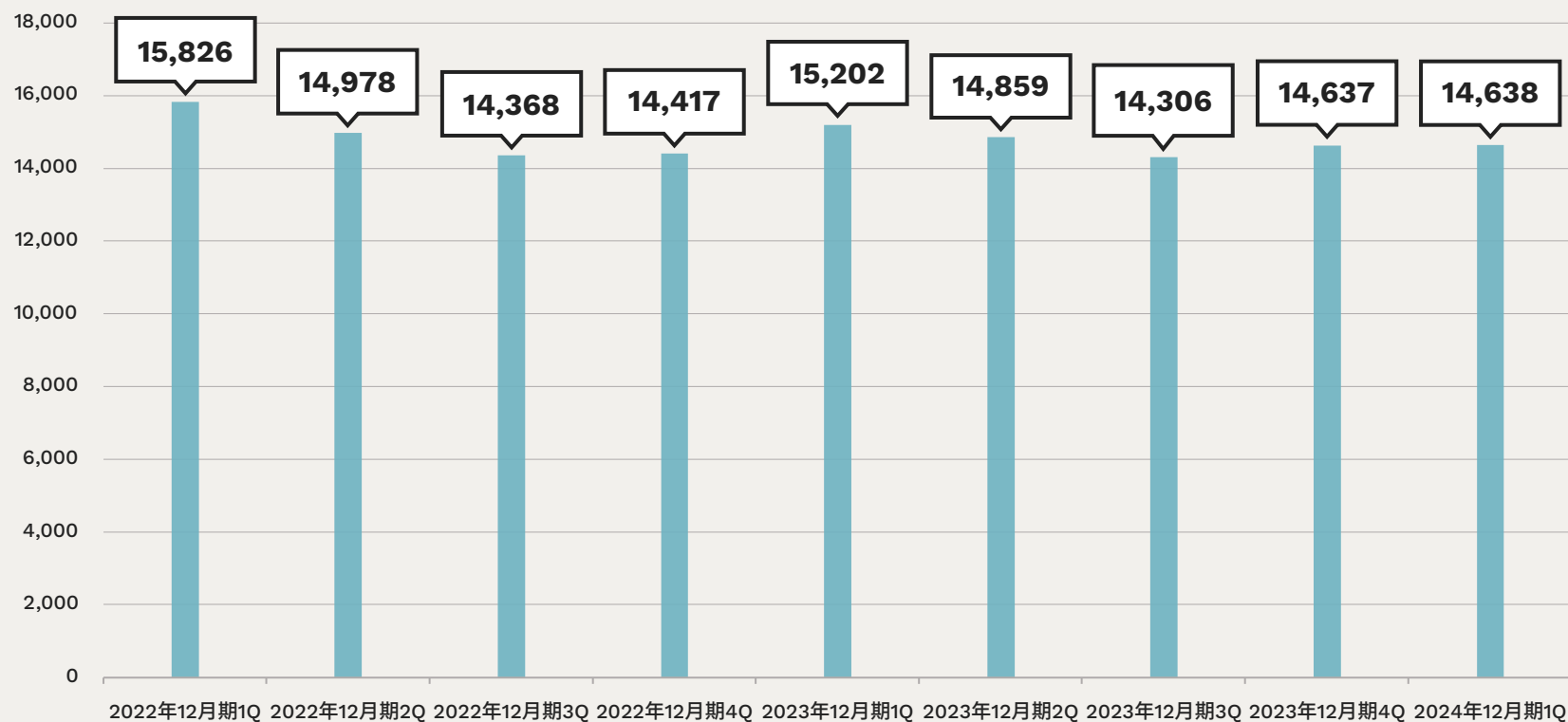
3

Chapter 4 : Supplementary materials

補 足
資 料

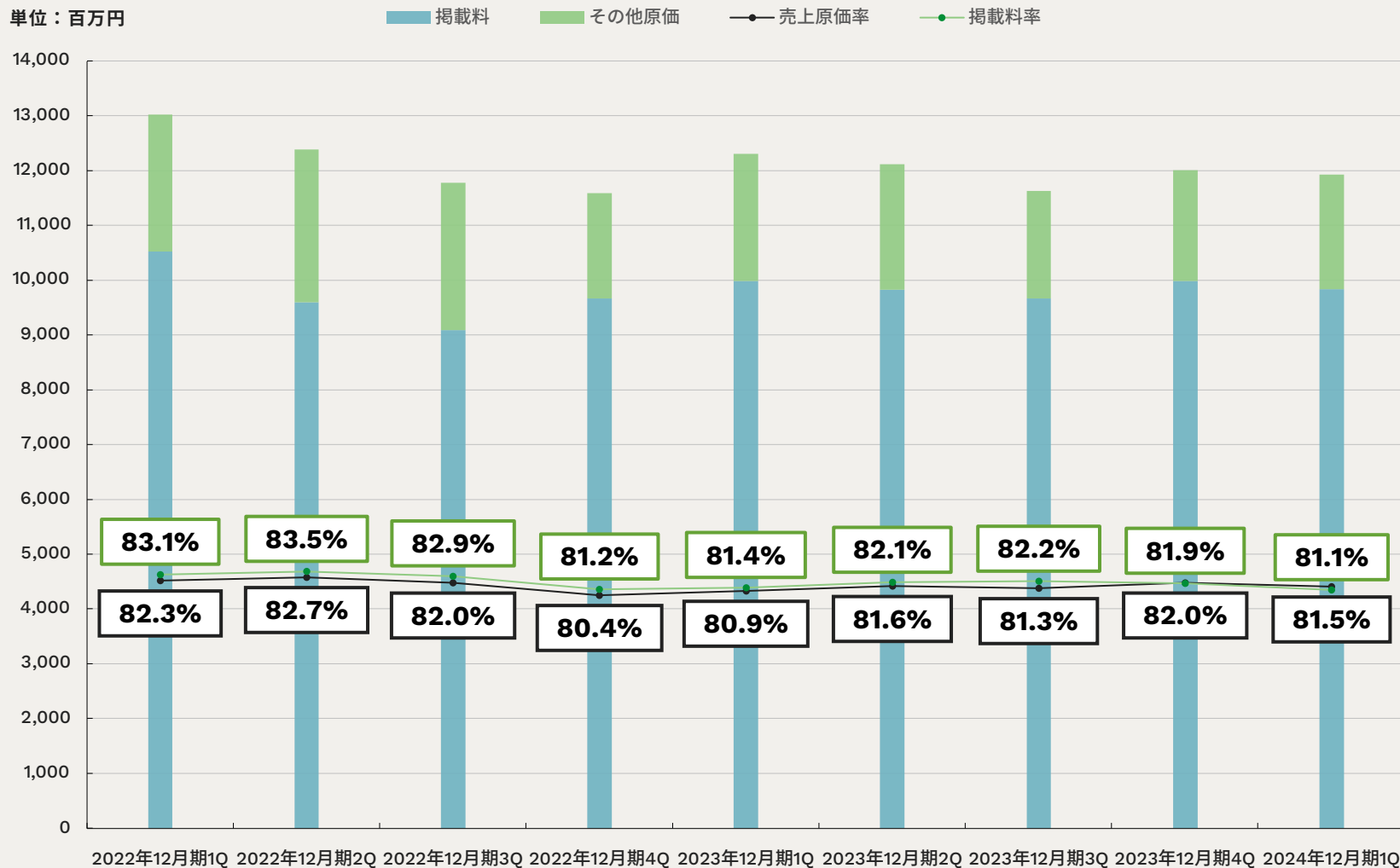
連結取扱高 四半期推移

単位：百万円



連結売上原価 四半期推移

単位：百万円



※ 掲載料、掲載料率は単体とADWAYS DEEE合計での数値となります。

連結販管費 四半期推移

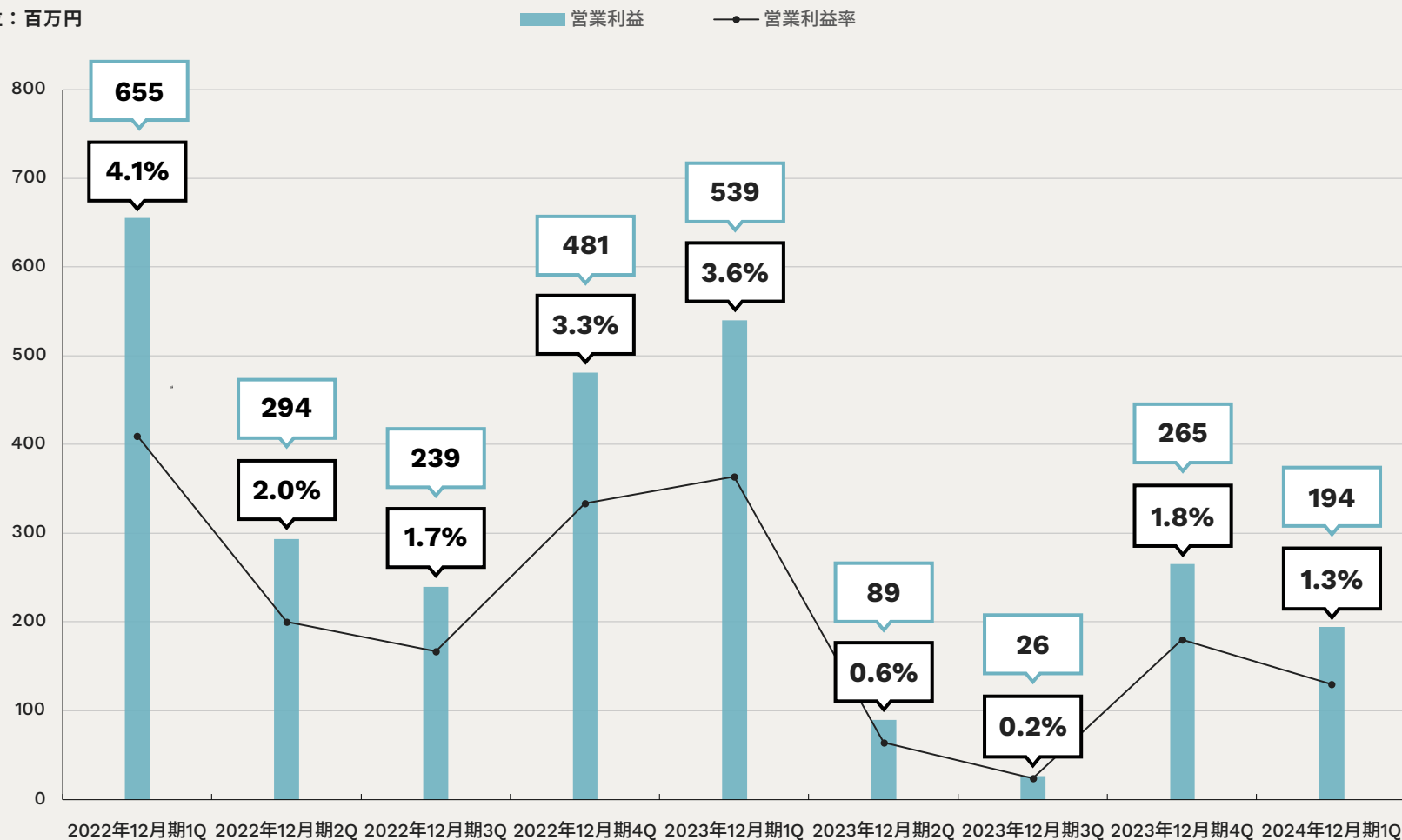
単位：百万円

■ 人件費
 ■ 採用教育費
 ■ 地代家賃
 ■ 減価償却費
 ■ その他経費
 ● 販管费率



連結營業利益 四半期推移

単位：百万円

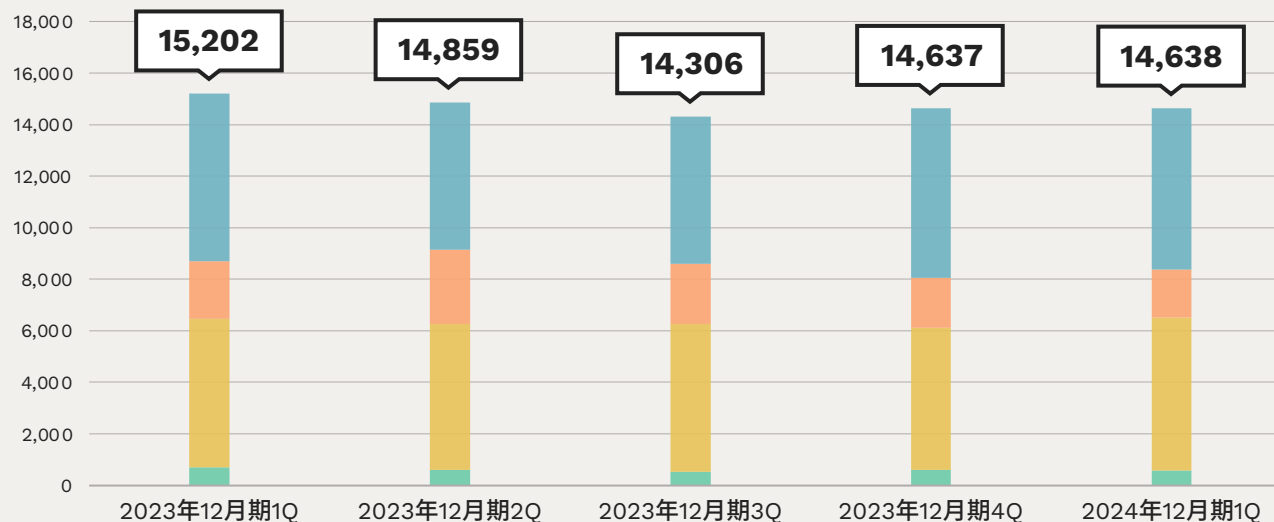


連結貸借対照表（前四半期比）

単位：百万円

	2024年12月期1Q	2023年12月期4Q	増減額	増減率
流動資産	19,773	19,940	▲166	▲0.8%
（現預金）	10,015	10,194	▲178	▲1.7%
固定資産	5,012	5,287	▲274	▲5.2%
総資産合計	24,786	25,227	▲440	▲1.7%
流動負債	9,989	10,342	▲352	▲3.4%
固定負債	227	283	▲55	▲19.7%
負債合計	10,217	10,625	▲408	▲3.8%
純資産合計	14,569	14,601	▲32	▲0.2%

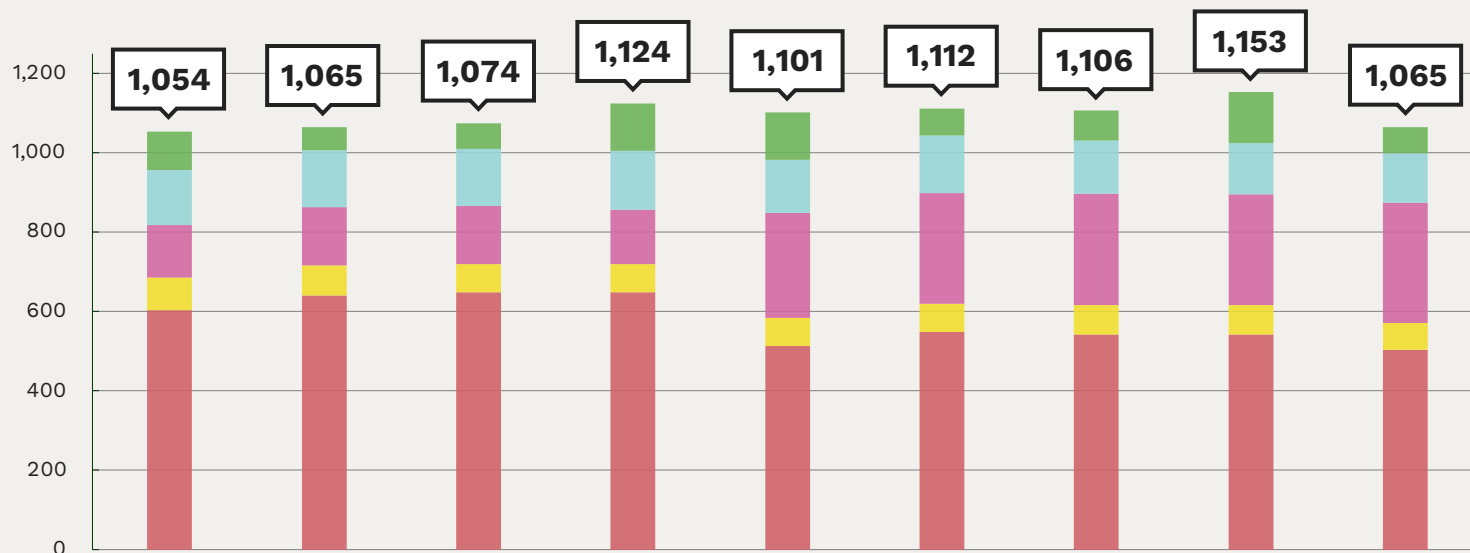
セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移



	2023年12月期1Q	2023年12月期2Q	2023年12月期3Q	2023年12月期4Q	2024年12月期1Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	6,511	5,712	5,692	6,589	6,258	▲330	▲5.0%
■ エージェンシー(海外)	2,221	2,874	2,355	1,930	1,857	▲72	▲3.8%
■ アドプラットフォーム	5,772	5,666	5,724	5,496	5,930	+434	+7.9%
■ その他	698	606	533	621	591	▲30	▲4.8%
合計	15,202	14,859	14,306	14,637	14,638	+0	+0.0%

※取扱高の前四半期比の増加額は百万円未満となります。

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q	2022年 12月期3Q	2022年 12月期4Q	2023年 12月期1Q	2023年 12月期2Q	2023年 12月期3Q	2023年 12月期4Q	2024年 12月期1Q
日本アドウェイズ	603	641	648	649	513	548	543	542	504
中国アドウェイズ	83	76	72	71	72	72	74	75	67
国内子会社	132	146	147	137	263	279	280	279	303
海外子会社（中国以外）	138	144	143	148	135	145	133	128	125
派遣／アルバイト等	98	58	64	119	118	68	76	129	66
合計	1,054	1,065	1,074	1,124	1,101	1,112	1,106	1,153	1,065

※2023年12月期1Qより、アドプラットフォーム事業を分割し、子会社化したため、日本アドウェイズが減少、国内子会社が増加しています。

会社概要

会社名 株式会社アドウェイズ (英名 : Adways Inc.)

設立年月日 2001年2月28日

事業概要 インターネット関連事業

代表者氏名 山田 翔

資本金 1,717百万円 [2024年3月末日現在]

取扱高 59,006百万円 [2023年12月期連結]

従業員数 1,065名 (グループ全体) [2024年3月末日現在]

※臨時雇用者含む